

様式第 4 号（第 11 項関係）

審議会等の名称	令和 2 年度第 1 回西脇市生涯学習推進計画策定会議
開催日時	令和 2 年 7 月 2 日（木） 午後 7 時 00 分～ 9 時 00 分
開催場所	西脇市総合市民センター 視聴覚室
出席委員の氏名又は人数	大関達也会長、依藤孝副会長、藤原咲子委員、遠藤加奈委員、藤原由美子委員、黒田位子委員、宮崎正則委員、圓井陽子委員、竹内晴行委員、松本美千代委員、山本義尚委員、松田一郎委員
欠席委員の氏名又は人数	
出席職員の職・氏名又は人数	教育長 笹倉邦好、教育部長 森脇達也、生涯学習課長 高瀬崇、生涯学習課主査 村上尚正、生涯学習課 岩崎宏城
公開・非公開の別	公開
非公開の理由	
傍聴人の数	2 人
議題又は協議事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 委嘱状交付</li> <li>3 教育長あいさつ</li> <li>4 委員紹介</li> <li>5 会長・副会長選出</li> <li>6 諮問</li> <li>7 審議事項</li> <li>8 その他</li> <li>9 閉会</li> </ol>
会議の記録（概要）	
発言者	発言内容等
事務局	1 開会
教育長	2 委嘱状交付 委嘱状読み上げ
教育長	3 教育長あいさつ 令和 2 年度第 1 回西脇市生涯学習推進計画策定会議の開催にあたり、一言ごあいさつを申し上げます

	<p>。本日は大変ご多用のところ、本会議に御出席を賜り誠にありがとうございます。</p> <p>我が国は、世界でも有数の長寿国となっており、人生 100年時代と呼ばれる社会においては、全ての人が生涯を通じて自らの人生を設計し、学び続け、学んだことを生かして活躍できることが期待されます。</p> <p>そのような中、本市では、生涯にわたって「いつでも、どこでも、だれでも」学習できる環境を整え、そこで得られた成果を地域づくりにつなげる生涯学習社会の実現を目指して取組を進めています。</p> <p>今後ますます進行する少子高齢化や人口減少を念頭に、高齢者などの生きがいづくりとともに、地域社会の課題解決に向けた学びと活動の好循環を創出していくため、生涯学習の推進体制を確立していくことが必要だと考えております。</p> <p>そうしたことから「生涯学び、人生を豊かに生きられる環境を整える」ことを目標に、生涯学習の総合的な推進及び振興並びに社会教育の施策を推進するため生涯学習推進基本計画を策定することとしております。</p> <p>つきましては、市民が住みやすいまちづくりの担い手として、主体的に学び、学んだ成果をまちづくりの実践に生かしていける生涯学習推進計画を策定したいと考えております。</p> <p>本日は後ほど、西脇市生涯学習推進計画の策定についての諮問をさせていただきます。</p> <p>計画の策定に当たりましては、皆さまの幅広いご経験やご見識をもってご審議等をいただきますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。</p>
事務局	<p>4 委員紹介 (名簿順に自己紹介)</p>
事務局	<p>5 会長副会長の選出 (西脇市生涯学習推進計画策定会議条例 第5条第1項の規定により選出)</p>
	<p>会長：大関達也 副会長：依藤 孝</p>

<p>教育長 会長</p>	<p>6 諮問 諮問書の読み上げ</p>
<p>会長</p>	<p>7 審議事項 (1)西脇市生涯学習推進計画策定について (資料3)</p>
<p>会長</p>	<p>西脇市生涯学習推進計画策定について事務局から説明をお願いします。</p> <p>(事務局から説明)</p>
<p>会長</p>	<p>ただいま、説明が終わりましたが、何か、ご意見やご質問等はございませんか。</p>
<p>会長</p>	<p>ご意見やご質問等はないようですので、「西脇市生涯学習推進計画策定について」につきましては、これで終わります。</p>
<p>会長</p>	<p>(2)策定スケジュールについて (資料4)</p>
<p>会長</p>	<p>策定スケジュールについて事務局から説明をお願いします。</p> <p>(事務局から説明)</p>
<p>会長</p>	<p>ただいま、説明が終わりましたが、何か、ご意見やご質問等はございませんか。</p>
<p>委員</p>	<p>ここまでに会議が1つとんだと思うが、本来4回やるべきものを3回で行うのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>書面でのやりとりも含めて、集約していきたいと考えています。</p>

委員	<p>基本的な会議は3回になると聞きましたが、それまでに常に意識を持ちながら策定内容を検討していこうとしたときに、資料としてはこの内容になるのですか。</p>
事務局	<p>これから協議いただいたものも集約した上で、提供させていただきますので、それも踏まえて考えていただくこととなります。</p>
会長	<p>他に、ご意見やご質問等はございませんか。</p>
会長	<p>他にご意見やご質問等はないようですので、「策定スケジュールについて」につきましては、これで終わります。</p>
	<p>(3)西脇市における課題、問題点について</p>
会長	<p>西脇市における課題、問題点について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(事務局から説明)</p> <p>各委員におかれましては、各団体、自治会、地域での役割など、様々な方面でご活躍されていることと思います。そうした中から見えてくる西脇市における課題や問題点を出していただき、出てきた課題を生涯学習計画の中にどのように考えていけばよいか検討できたらと考えております。</p> <p>課題や問題点を付箋にお書きいただき、多くの課題を出していただけたらと思っております。</p> <p>ご記入いただきました付箋につきましては、前のホワイトボードに貼っていきます。そうすると多くの課題が見えてくるという流れになっていきますのでよろしく願いいたします。</p>
会長	<p>自由に、西脇市の課題、あるいは教育の問題について考えたこと思いついたことをできるだけ短い単語でたくさん書いていただければと思います。</p> <p>できるだけ目線を低くして、個別具体的な、非常に喫緊な自分の身の周りで起こっている課題や問題を書いていただけると、そこから抽象的な概念にしていけ</p>

委員

ると思います。最初から高尚な課題を書いてしまうと議論が発展しづらくなってしまうので、それぞれの立場でお感じになっているイメージであるとか、直接生涯学習に結びつかないかもしれないというものも、後からそれが少しずつ発見につながればそれでいいと思います。

後で、書いていただいたものを、どんな問題意識を持って書いたのか説明していただきたいと思います。

私は兵庫教育大学からやってまいりましたので、大学の知的資源を使って、西脇市の課題の解決に向けてどのように還元できるかということに、一番関心を持っています。

私は専門が教育学で、研究内容としてはときどき地域とともに学校をつくっていくというコミュニティスクールについての研究もしてきました。そのような面からも、西脇という地域のコミュニティが学校をどのようにみているか、学校と一緒に地域をどのようにつくっているのかということにとっても関心があります。

次に、コミュニティと学校がどのようにつながっているのかということです。コミュニティといっても、その地域に住んでいる人はお年寄りから小さな子どもまで色々な人がいます。そういう人たちと小学校や中学校が、どういうふうに関わっているのかということにとっても関心があります。

それとの関わりで申し上げますと、今後、このコロナ禍をきっかけに人と人とのつながりのあり方が大きく変わってくるように思います。

人と人との関わりで特に最近問題になっているのが、オンライン会議と対面会議です。どこに違いがあるのか、それぞれにふさわしいやり方で問題を解決していくということが大事になるだろうと思っています。

最近新聞をにぎわしている、SNSで誹謗中傷するということも、全国各地で起こっています。そこで、SNSと新しいコミュニケーションの問題もやはり、この生涯学習の中で取り組んでいかなければならない問題だと思っています。

少し視点が違いますが、西脇市の郷土、ふるさと、歴史とその伝承を、高齢者から小さな子どもへどの

<p>委員</p>	<p>ようにしてるのかということにとっても関心があります。伝承の仕方、伝承の問題に大学が少しでも貢献できたらと考えています。</p> <p>生涯学習を行う上で、健康寿命がポイントになると考えています。</p> <p>最近、高齢者がグラウンドゴルフを一生懸命されていますが、一方で、シニアの学習となると少ないと感じています。西脇市は、もう少し知的な面での学習の機会やチャンスを提供しなければならないのではと考えています。</p> <p>現在、高齢者大学がありますが、時代が変り、学歴もだんだん上がってきており、内容も変えていく必要があるのではないかと考えています。</p> <p>そういうことから、生涯学習とは何かということをもう一度考え直す必要があるかと思えます。</p> <p>西脇市には生涯学習をする施設が多くあり、人が大勢おられます。そういった人たちが有効活用することと、一人がやっていることよりも二人の方が3・4の力になる。いわゆるコラボをやっていくということを考えています。</p>
<p>委員</p>	<p>私は書道をしてますが、退職してから2～3年間、小学校へ派遣され、授業をしたのですが、すごく子どもが喜んでくれて、自分の力を活かすことができ本当に嬉しかったです。今も近所の子に教えていたり、ご高齢の方が来てくださっています。もっとお役に立てればと常々思っています。</p> <p>岡之山美術館はレベルも高く誇らしいのですが、西脇市美術協会に所属する中で思うことは、お互いに助け合い、地域の方を育てるという思いを持ち合えればということです。</p> <p>施設もドウジウムなどできており、もっと皆さんがそこで集いあって、何らかの形で違うものが生まれていったらと思います。</p> <p>65歳以上になったら老人会のお誘いが来ますが、できるだけ入って、お互いに学びあいができればと思います。</p>

委員

文化面、芸術面が充実される社会が人として求められる分野であり、そうでない分野はどんどん機械化、IT化されていくと思っています。

西脇市には色々な施設があり、みらいえは成功事例だと思いますが、カルチャーセンター、ドウジウムは認知度が上がっていないように思います。そういった文化施設をどうしたら有効に活用できて、人としての学びの場、施設の利用につながるか、箱物はつくったがなかなか人が来ないという実態がありますので、例えば、サラリーマンの方が余暇としての時間帯に来られるような施設の利用の仕方など、生涯学習を考える上で文化施設の有効活用を考えていくことは重要であると思います。

また、西脇にも色々な文化団体があり、色々な趣味を持った人や勉強をされている団体がありますが、ほとんど横の連携がないと感じています。

何か横の連携をしながら施設を有効に使うことはできないかと思っています。

委員

5年先・10年先の次の世代の人たちにこういう西脇市をつくっていくというビジョンが必要ではないかと常々思っています。

教育は当然ですが、雇用を確保していく誘致活動や、耕作する人がなくなってきて荒れてしまっている田畑など、行政として何らかの方向性を示して、継続していけるような一つの明確なビジョンがあっても良いのではないかと考えております。

まず、思うことは、横のつながりです。自治会組織の中でも横のつながりが見受けられないようなところが多々あります。自治会のあり方というものを考えていかなければならないと思います。

行政が施設や集まれる場所をつくるのではなく、生活している住民なので、行政だけに頼っていないで、自治会でそのような場所を作って次の世代に渡していかなければならないと思っています。

その中の一つとして、防災関係の問題は、避難所の問題や災害時にどう助け合えるかという地域の間人関係の問題でも自治会のあり方も含めて考えていかないといけないことであると思います。

委員

P T Aを経験した中で感じたことは、家庭の教育がとても大切なことですが、できにくい家庭もあります。学校や園で道徳から教えていかないといけないと思いますが、そういうことを支えていく地域の力、P T C Aが必要になっているのではないかと考えています。

結論的には、自治会のあり方次第でこの問題が解決していけるのではないかと考えています。

生涯学習をやっていると思うと、健康になる仕組みが一番大事だと思う。果たして西脇市はその仕組みが整っていると考えると。今はおりひめ体操を高齢者の方などがされていますが、どこまで広がっているのかという問題があると思います。

ボランティアなど、「何かしたいが、何かないか」と言われる人あるのですが、その際に提供する情報が少ないと感じています。そのようなところから、楽しみを探す仕組みを持っていないところが課題だと思います。

今もP T C Aや家庭教育が大切という意見がありましたが、幼児期から生涯学習というものを考えていく必要があると思います。小学校年代では、わんぱく教室とか色々企画されるのですが、子どもたちもスポーツや塾など忙しいのか参加者が少ない状況です。けれども、生涯学習という考え方の中では、幼児期からの学習が必要であると思います。

また、色々な趣味をお持ちの方が、自分の趣味だけではなく、それを地域に還元したり、指導に向けていくような仕組みがあればと思います。なぜなら、すごくやってらっしゃる方は色々やられているからです。

ボランティアをはじめ、一人の方が複数活躍されていて。結局、底辺があまり広がっていないという課題が西脇市にはあるのではないかなと思います。

障害者の生涯学習は忘れてはいけないことだと思います。「いつでも、どこでも、だれでも」という言葉がありましたが、障害者のニーズを掴まえていないのではないかとということと、障害者には支え手が必要になるので、支え手の不足というのが課題であると思います。



委員

年配の方の意識についてですが、様々なイベントでお出会いする方の顔ぶれが大体一緒であると感じています。

老人会などに入っていないなくても、イベントや、趣味の教室で一生懸命勉強されている方が多くいらっしゃいますので、すでに参加されている方は、新規で参加される人をもっとウェルカムな状態で迎えてあげてほしいと思います。

まだまだ昔の意識で高齢の方がいらっしゃいますので、意識が変わることによってその辺が広がれば良いと思います。

次に、施設までが遠いと思います。例えば、日野地区の人は、みらいえの位置が遠いと感じられていて、様々なイベントや子育ての教室についても遠くて参加できないといわれる人がおられます。それは図書館も同じでその辺が解消されればと思います。

委員

以前より子どもの数が少なくなってきた、活動する力が小さくなっていると感じています。

次に、学びの場が少なくなるのではないかという心配です。もしも学校が一つなくなったり遠くなってしまうと、その地域でのつながりがますますなくなってしまうので、人の活力がないということは、学びの場がなくなることにつながるのではないかと考えています。

子どもたちが心も体も豊かな将来設計、生涯設計をするにあたって、具体的なビジョンがわかりやすく提示されることが、やる気や生涯にわたって学んでいくという気持ちにつながると思います。

幼稚園と小学校、小学校と中学校といった環境の変化もスムーズに対応できるように連携事業があるのですが、中学校と高校、高校と大学についても連携できればと思っています。具体的にこういう学校に行けば、こういうことができ、こういうことが社会に出たときにつながって、将来にわたって学び続けたいという意欲が持てるという意味で選択肢を広げてもらえたらなと思っています。

交通機関は車が主で、住まいによってはなかなか徒歩で行ける施設が限られています。そうすると人の交流も限られています。

委員

市に集客できる場所があれば、多くの人が集まって、活性化とか学びの場にもつながるかなと思います。

子どもたちの安全な生活のために周りに助けてくれる人や環境があることで安心して西脇に住むことができ、生涯学習を構築することにつながると思います。

夜、市内を歩くと外灯が少なく、その結果、歩く人も少なくなってしまうと思います。

市内でも夜歩いている事故があったりしたので光るタスキを各家庭に1本は無料配布してほしい。そうすれば加害者も被害者も出ないと思います。

市役所の移転後の跡地に公園等をつくり、集いの場にしてほしいと思いました。市内では車での移動が主ですが、もっと歩くことを重点に考えていけたらと思います。

子どもについて言えば、悩みを抱えている子もたくさんいると思うので悩みを打ち明けられる環境が必要であると思います。

文化面でいうと、アピカホールなどで開催されるクラシックなどのコンサートに市内の方々、中学生、高校生が触れる機会を作る必要があるのではないかと思います。

そして、生涯学習をすすめ、地域のために頑張れる人が増えることが大切なのではないかと思います。

委員

図書館ボランティアをしており、その視点から言いますと、みらいえは、黒田庄地区など地域によっては、不便なところに建ってしまいましたが、図書館は、文化資料の情報発信や市民の交流の場所であったりして、コミュニケーションをとるにはとても良い場所になったのではないかと思います。

市内の小・中学校の図書室の様子を聞くことがあり感じたことは、学校によってとても充実した図書室もあれば、そうでないところもあるようです。図書室を充実させて活用できればその中で子どもたちがコミュニケーションをとったり、地域の人たちと関わることができ、学びの場になるのではないかと思います。

双葉小では小学生の人数が30人を切りました。平成29年に比延地区自治協議会が発足され、地域のみなさ

	<p>んがまちづくりについて協議を重ね、どんどん輪が広がっています。西脇の中では一番まちづくりを頑張っているのではないかと考えています。最近テレビ番組で、10人くらいの小学校が大きな小学校とリモートで一緒に学んでいる様子を見ました。リモート授業やリモートワークなど、過疎地においても都会と同じように、格差が生まれにくいような、様々な情報技術を活かせるような地域になっていけばと思います。</p> <p>子どもたちの夢と志を聞くと、ほぼ95%都市部で頑張りたいと答えます。</p> <p>郷土についての学習では、播州織は教材化してやっていますが、地域医療・西脇病院の復活再生の取組は国内でも本当に自慢できるもだが、子どもたちはあまり知りません。こういうところをもっと伝えていくことを継続しなければいけないと考えています。</p> <p>都市部にも夢はありますけれども、コロナで時代がひっくり返りました。そういう時代だからこそ西脇から発信できる、そういう力としました。</p> <p>生涯学習への関心も子どもたち自身もあまり高くはないと思います。</p> <p>「チーム学校」という言葉があります。学校は教師と生徒だけのものではなく、保護者、地域、関係機関など色々なものがチームになって、そうしたら学校自体も地域の教育センターのようになります。地域活性化の核としての学校、そういう面での機能拡大を通して何とかできないかと思っています。</p> <p>さらに、コロナ収束後の見通しを我々が子どもたちに語れません。今まで一局集中の日本がこの機会でもしかしたらひっくり返るかもしれません。西脇とか地方から様々なことができる時代になるかもしれないということを、大人が見本を示したり、子どもたちに語れる場があればなど、そのようなことを考えています。</p>
委員	<p>子どもが少なくなっていることは、どこの地区でもあることで、日本全国で抱える課題です。ただ、減少していること自体が問題ではあるのですが、その中身を考えていかなければいけないと思っています。</p>

私は、村の子ども会の役員として12年間、夏のキャンプを担当しました。以前は、子どもたちは自分のしたいことがあるが、親が全部準備をし、段取り良く終わって段取り良く片付けたいという親の都合でのキャンプをしており、子どものキャンプではありませんでした。そこで、自分たちでやらせることが、子どもたちのつながりを生むと考え、子どもたちを集め、子どもたちに考えさせて、子どもたちにキャンプを運営させました。それを続けてきた子たちが40代になり、村の中核を担って頑張ってくれています。子どもの力はすごいもので大人が時間などを与えてやれば、やれる力を持っています。ただそれを十分にもらっていないのが、今の子どもたちなのだと思います。子どもたちにもっと自分たちの夢や色々なものを持ってもらうためにも地域の力が必要だと思います。

地域の中には色々な力を持った方がたくさんいらっしゃるので、そういう方をできるだけ学校に招き、色々な話をきかせてやってほしいし、そういう人たちにも元気になってほしいと思っています。

今、コミュニティスクールの話もありましたが、できる限り地域と学校がつながることが大事だと考えています。学校の先生も学校の中のことで忙しく、地域のことがわかりません。他市町から勤務している先生は多くいますが、先生にも学校がある地域の住人になってもらいたいし、繋がってほしいと思っています。

次に、気になるのは地域には色々な組織があるのですが、組織がどうしても先細りしていているようです。組織も人が循環しないで高齢化し、そのうちにしんどい状態になっています。組織の中がもっと循環されればよいと思うのですが、組織に参加される方は限られています。

小学校、中学校の間は色々と社会教育でも呼び集める会合がありますが、高校になったら突如としてなくなります。西脇北高校はボランティアですごく活躍されていますが、そうではないコンビニで集まっている子らでもそういう力を持っているのでそのような子らを活躍させてほしいと思ったりします。

そのためにも、共生の意識を持つことが学校として大事だと思い一番大切にやっています。どんな人でも

<p>会長</p> <p>会長</p> <p>森脇部長</p>	<p>違いをきちんと認めるということと支えあうという気持ちを持ちを大切に、子どもの内から育てないといけないと思っています。</p> <p>うちの学校では、学校の誇れるものをつくろうと頑張っています。</p> <p>市の誇れるものは何か。みんなが言えるようなものは何でしょうか。</p> <p>横尾氏の言葉で「最終的に人間が生きるのは自分でものをつくること」ということがあります。自分でものをつくって、つくったものを食べて、自分でつくった道具で物をつくり、つくったものを楽しむといったように、生活の原点に戻って考えられるようなそういうことが大事になってくるのではないかと思います。そういうところに子どもたちが夢を描いてくれるようなまちになればと思っています。子どもも大人も高齢者も夢を持ってないと、生涯学習は続けられないと思っています。</p> <p>みなさんありがとうございます。西脇という地域の固有の課題や問題意識から、全国に共通するようなものまで多様な意見が出されました。まずはここまで熱心に議論に参加してくださったみなさまに感謝申し上げます。本日出していただいた課題、ご意見につきましては、担当課と調整し、整理したものを委員の皆さまに郵送でお送りしたいと思います。ご意見をまたいただければと思います。</p> <p>それでは、進行を事務局に戻します。</p> <p>閉会あいさつ</p>
<p>問合せ先</p>	<p>西脇市教育委員会生涯学習課</p>